

塗コラム 5月

元川西町地域おこし協力隊
塗 貴旭

みなさんこんにちは。前回に引き続き素朴な原稿となりました。写真がないからと言って伝えたいことがないわけではありません。色々とネタを普段からメモしておくのですが、読み返してみると自分宛でコラムにはどうかなーというのが多いです。まあ、そもそもコラムを毎月書いている人なんてそう多くはないでしょうからね。今回はショートコラム綴りにします。

「ラジオに寄せられるメール」

ラジオ放送の仕事をしているため、リスナーからのメールを読みます。だいたい生放送中に届くわけですが、その内容に、よく季節の話題が書いてあります。上杉まつりの季節だとか、山菜の季節だとか、砂埃がすごいから洗車しようかとか...地元の話よくするんです。住んでる土地の話題を話すというのが置賜っぽいと思うことも。自分が川口市の話をするかといえば、したことないです。川口市にもコミュニティ FM があるので、どんなメールがくるのかみてみたいもんです。

あと、色んなメールを読んでいると「人って基本的に変わらないんだな」と思います。好きな曲、興味のあること、メール内容。その人はその人でしかないってことです。

「朝からアカデミックなラジオ」

早番のときは朝の5時半くらいに家を出るので、「サードプレイス」という番組を聞いてます。残念ながら東京の番組で FM 山形です（笑）この番組は朝から大学教授がペラペラ話す超アカデミックな番組です。朝の5時にこんな番組を誰が聞くのか？僕です！聞いてます。政治の話とか、若者が選挙に行かないとか、地方活性化がどうか、こういう類いの話です。結構おもしろいですよ。たぶん、リアリティが好きなんです。町おこしには何が必要か？という話題のときは、よくあるイベントしましょうとか言わないですもんね。若者は都会を夢見て、都会へ向かうのは普通みたいなこといいます（笑）そりゃそうだよなって思います。こういう番組を地方で流すと、地方を批判してるとかかって、すぐ炎上するんですが、頑張ろうが努力しようが報われないときは報われないと割り切れば、どんなことも、そんなもんだらと思えますけど。何か、そういう被害者意識とか周りに迷惑をかけるとか、傷つく人がいるかも症候群がある気がしますね。東京だからというわけでなく、都会という様々な人が暮らす場所で流す情報というのは、対象がコアな人向けなんですかね。その辺のオープンマインド感は地方と都会では違うと確信してます。

「将来の夢」

むかしむかし、過去何度にもわたり作文で書かされたと思いますが、小中学校生が書く将来の夢は、大人が読んで楽しむものなんでしょうか？小学生で将来がわかるわけない。と、バツサリ言う夢のない大人に少しでも夢を見させるためにあるのか？仕事をしていると一日9時間は会社にいます。週45時間以上は会社のために時間を使っています。生活のためと言うと夢がないので、家族のためとか、仕事が好きだからとか大人は言います。が！それは大人だから理解できる、そして実行できるスローガンであって、会社員というのは基本、会社の利益のために働くわけです。ちなみに会社のためというのも大人な考えです。僕は自分に素直な人が好きですね。やりたくないことはやりたくない、出来ないことは出来ない。しかし、この判断を自分にできるのはスーパー大人な人でないと出来ないんです。自分がやりたいことがやれる人は、自分で何とかできるけど、そうでない人が、みんなで何かをやろうとすると足の引っ張りあいになって不幸になるだけです。と、こういうこと書いてるのは、二十歳の子が何考えてるか知る機会があって、あらためて素直っていいなあと、音楽っていいなあとと思ったからでした。